

75歳以上の医療費2倍負担化反対運動のとりくみ提起

2018年6月21日 75歳以上2倍負担化反対実行委員会

来年から、75歳以上の医療費窓口負担2倍化を実施する方向で、政府での論議がすすめられています。そうしたスケジュールにもとづけば、来年の通常国会には法案が提出されることとなり、今年の秋には、社会保障審議会（厚労省）での建議（報告）が出されることとなります。

2倍負担化については老人クラブや医療関係団体からは負担増への慎重な声が出されています。秋には、大きな反対運動の広がりをしていくために、地域での運動を足場に、全県・全国に運動を広げていきましょう。

（1）地域での宣伝・署名行動をすすめよう

- ①2倍化反対の地域での宣伝・署名行動の計画化をすすめましょう（できれば月一回程度）。実行委員会として、署名・宣伝チラシ、その他の宣伝グッズを早急に準備します。
- ②県の実行委員会では、月一回程度の定例宣伝行動を行います。最初の署名・宣伝行動は、7月19日（木）13:30～14:30伊勢佐木町モール有隣堂前で行います。

（2）署名を広げ、市町村議会への意見書採択運動をすすめよう

- ①署名は、来年開催予定の通常国会を期限として、団体組織、地域で大きく広げましょう。
- ②秋に開催される県議会・市町村議会に、国に対しての意見書採択を求める請願運動に取り組みましょう。
- ③秋に開催予定の臨時国会への署名提出、議員要請行動などを具体化します。

（3）学習会・つどいなどを地域で開こう

- ①地域で「75歳以上の医療費窓口負担2倍化」を軸に、医療や福祉に関する学習会やつどいを開催しましょう。
- ②学習会用資料、クイズチラシなどを準備し、保険医協会の医師による健康講話出前運動などをすすめます。

（4）実行委員会への参加団体、賛同団体を増やしていこう

- ①医療や福祉にかかわる団体、労働組合、高齢者にかかわる団体の実行委員会への参加、賛同団体を増やす取り組みをすすめましょう。
- ②県段階の組織（連合会など）は実行委員会で手分けして懇談をすすめます。地域段階の組織については、地域社保協・各団体の地域組織ですすめましょう。

（5）この運動を全国に広げよう

- ①75歳以上の医療費窓口負担2倍化は、神奈川県内の運動だけでは阻止することができません。実行委員会に加入する団体、賛同団体から、中央組織への働きかけをすすめましょう。
- ②全国的な運動が実現した段階で、神奈川県内の運動は全国と連携して取り組みます。

（6）実行委員会と事務局会議を機動的に運営します

- ①秋までに運動を急速にすすめていく必要があることから、実行委員会は最低月1回のペースで開催し、機動的で具体的な行動提起ができるようにします。
- ②実行委員会の確認を機敏に実施できるよう、事務局会議を適時開催し具体化をはかります。
- ③この運動にかかる諸費用は、実行委員会参加団体の拠出金と賛同団体・賛同者のカンパによって賄います。

以上